

平成 27 年度 事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人サポネットおごおり

1. 事業の成果

平成 27 年度は、昨年と同様に「相談支援」、「地域活動支援センター I 型」（オープンスペース）、「移送サービス」の 3 部門に分離し、部門別の責任分担を明確化して活動を行った。

最初に「相談支援」部門は、4 名の相談支援専門員の内 1 名が育児休職中の為、オープンスペース担当職員が相談支援専門員の資格を取得し、5 名（実質 4 名）にて「生活支援事業」「相談支援」「計画相談」「認定調査」「自立支援協議会事務局」「うつ病家族広場」「グローバルネットワークおごおり」「地域交流活動」「地域支援活動」の 9 本立てで行った。昨年より計画相談が 2 倍に増え、一般相談と計画相談を 5 人（実質 4 名）の相談支援専門員で行い、同時に訪問・同行・会議等も増え、昨年に増して業務対応が非常に難しかったが、相談専用の公用車の確保が出来た為、非常に助かった年であった。

「生活支援事業」では、「本人活動支援事業」として各団体の支援や個人活動支援、「ボランティア活動支援事業」として行事へのボランティア要請を行うと共にボランティアの育成を行った。「福祉機器リサイクル事業」では、広報誌や掲示板を利用し、関係機関への周知を行ない、提供 15 件（10 品目 52 点）、譲渡 22 件（10 品目 45 点）のリサイクル斡旋をおこなった。毎年の事であるが、リサイクル機器の常設会場がない為、大型の福祉機器は提供者宅に保管したまま、見本がない状態での斡旋になるため、譲渡の調整に時間がかかることが多くあった。

「相談支援」については、事業所開設以来最多の 1,635 件（延べ件数）の相談があった。内訳は来所相談 527 件、電話・メール相談 335 件、訪問 535 件、同行 164 件、支援会議 74 件（全て延べ件数）となっている。

「計画相談」も最多の 408 件【内訳、新規 77 件（実人数 77 名）、更新 186 件（実人数 154 名）、モニタリング 145 件（実人数 133 名）】を実施した。計画作成に伴う本人や関係者との支援会議や自宅訪問、更にモニタリング等の事業者訪問や同行等で外出が多くなり、毎月の計画相談件数をセーブしなければ、対応が難しい時もあった。

「認定調査」についても、最多の 189 名の調査を行った。また、調査場所については自宅より施設が多くなり、訪問・同行・支援会議と重ならない為の日程調

整や公用車の配車割に頭を痛めた。

「自立支援協議会事務局」については8年目となり、毎月1回の「運営会議」の他、「ネットワーク会議」「学校教育連絡会」「各ワーキングチーム」(WT)と実施した。障害当事者を含む市内障害者関係機関による「ネットワーク会議」は、年3回開催した。内容として、トピックスの共通研修や相談支援のトータルマネジメント研修も実施した。その「ネットワーク会議」の中で昨年より「就労ワーキングチーム(WT)」「居宅WT」「児童WT」「日中活動WT」「住まいWT」が発足し、各WTが独自に勉強会(年3~4回)を行った。同時に昨年行った「就労セミナー」を今年も就労WTで実施した所、好評であった。

「学校教育連絡会」については、市内小・中・高校・特別支援学校の先生方や子育て支援課、教育委員会の担当者の参加もあり、市内に新設された事業所の紹介や利用方法等の意見交換会を行なった。その後の問い合わせもあり、少しずつ相談窓口が浸透してきたと考えている。

「全体会」は年2回、運営会議や各会議の報告及び指定相談事業所の相談状況や個別支援会議の報告を行った。

「うつ病家族広場」については、平成22年1月より、毎月1回実施している。スタッフはサポネットから1名、市福祉課から1名。今年は6年目となり延べ78名の家族の参加があった。今後も形態を考えながら家族のニーズに応じて行きたい。

「グローバルネットワークおごおり」で行う障害児の長期休暇中(春休み・夏休み・冬休み)のデイサービス事業は、毎回利用する保護者からは前もって期日の問い合わせが増加し、事業への期待が大きくなるとともに、新しい障害児の参加も多くなってきた。人数が多い場合は、ボランティアの通常2名体制を1~2名とした為、利用する障害児全員を受け入れることが出来た。

しかし本年度はウインタースクール、スプリングスクールと参加数が減少した。理由として、市内に障害児を受け入れる事業所が増え、保護者がコーディネートしている為かと考える。

「地域交流活動」については、障害児(者)の啓発活動の一環として、市内外からの個人・団体の見学や小・中・高生の実習受け入れや講師派遣を行った。

本年度は、社会福祉士資格取得の為の現場実習の担当者が育児休職中のため、実習の受け入れは中止をした。

「地域支援活動」についても、小郡市内の各障害者団体との連携も取れるようになり、その団体に応じたいろいろな支援が出来たのではないかとと思われる。

次に「地域活動支援センターI型」(オープンスペース)では、常時2名以上の職員を配置し、「いつでも行ける場所」「いつでも相談できる場所」として定着してきた。本年度は、オープンスペース担当職員が相談支援専門員となり、兼務

で対応すると同時に有償ボランティアをお願いし、必ず 2 名の職員配置とした。平日はもちろん、土・日・祭日には市外（久留米市等）や県外（鳥栖市等）からも来所があり、障害児・者やその友人、通所施設の利用者や就労している人が気軽に行ける場として、必要不可欠な場所となっている。また、近郊の事業所（大刀洗町・大牟田市・大川市）からの見学があった。

来訪者数は 5,411 名（延べ人数）だった。市内に障害者施設が多く出来てきた為か、平日は事業所が終了した後の利用が多く、休日は朝から利用され非常に多い。定例の行事（昼食会・レク会等）への参加は毎月 20 名~30 名ほどあり、オープンスペースが混雑する場合は、あすてらす館内のゾーン（温泉・エントランスホール）を利用して過ごされている。また、女性だけの「レディースデー」は好評であり、年 2 回実施した。その為か平日でもスムーズに女性利用者が入れるようになった。

最後に「小郡市福祉有償運送事業（移送サービス）」については、運転手 6 名、車両 3 台体制で行い、念願の無事故・無違反であった。

現在の利用登録者は 221 名、平成 27 年度の移送回数は 延べ 5,055 件となり収益は今までの最高金額となった。同時に 5 回目の登録申請を行い平成 31 年 2 月までの許可証を頂いた。3 台体制のため、予約時点で調整を行なうことで早朝の対応も行ない、障害（身体・知的・精神・児童・特定疾患）に応じた対応（介助）にて、安心して乗車して頂けると考える。その反面、維持経費（人件費や燃料費等）もあり、タクシー料金の半額という利用料金では収益は出ず本年度も実質赤字になっている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動法人に係る事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の生活支援に係る事業(1)	認定調査事業(面接)	通年 9時～ 17時	調査対象者宅 施設・病院 相談室	5名	障害(児)者 189名	
	生活相談事業(来所)	通年 9時～ 17時	支援センター 相談室	5名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)522件	

生活相談事業 (電話・メール)	通年 9時～ 17時	支援センター	5名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)335件
生活相談事業 (同行)	通年 9時～ 17時	市役所・施設・病院等	5名	障害(児)者・家族 (延べ)164件
生活相談事業 (訪問)	通年 9時～ 17時	自宅・施設・病院等	5名	障害(児)者・家族 (延べ)537件
生活相談事業 (支援会議)	通年	支援センター 自宅・市福祉課等	5名	障害(児)者・家族・関係者 (延べ)74件
生活相談事業 (計画相談)	通年 9時～ 17時	自宅・相談室 施設・病院等	5名	障害(児)者 計画相談 408件
生活支援活動 (オープンスペース利用)	通年 9時～ 17時	支援センター	7名	障害(児)者・家族・ボランティア (延べ)5,411名
生活支援活動 (昼食会)	月1回 10時～ 13時	あすてらす 調理実習室	7名	障害(児)者・家族・ボランティア 9回(延べ)149名
生活支援活動 (レクレーション会)	月1回 13時半～ 15時半	あすてらす 多目的ホール	7名	障害(児)者・家族・ボランティア 9回(延べ)185名
生活支援活動 (クリスマス会)	12/23	あすてらす 多目的ホール	7名	障害(児)者・家族・ボランティア 22名
生活支援活動 (お花見会)	3/27	あすてらす	5名	障害(児)者・家族・ボランティア 17名
生活支援活動 (レディースデイ)	5/31 2/28	あすてらす 研修室	3名	障害(児)者・ボランティア (延べ)11名
生活支援活動 (ボウリング会)	6/7 2/7	楽市楽座 210 久留米店	2名	障害(児)者・家族・ボランティア (延べ)43名

	生活支援活動 (忘年会)	11/29	一品香小郡店	9名	障害者・ボランティア 22名	
	生活支援事業 (ふれあいオリ ンピック)	10/18	小郡市体育館	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 13名	
	生活支援事業 (うつ病家族 広場)	月1回 13時半 ~15時	あすてらす 研修室1	1名	障害者家族 (延べ)78名	
	生活支援活動 (グローバルネ ットワークお ごおり)	年3回 10日間	あすてらす 多目的ホール 調理実習室等	1名	障害児・ボランテ ィア (延べ)440名	22,949
	小郡市福祉有 償運送事業 (移送サービ ス事業)	随時	小郡市を発着 地とする圏域	6名	障害者手帳所持者 及び登録者 221名 (延べ)5,055件	8,054
障害者への理 解を深める為 の啓発活動に 関する事業(2)	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/28 ~ 2日間	サポネットお ごおり	6名	三井高校実習生 (延べ)2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/30 ~ 2日間	サポネットお ごおり	6名	宝城中学校 職場体験 (延べ)2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/3~ 2日間	サポネットお ごおり	6名	三国中学校 職場体験 (延べ)4名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	9/3	サポネットお ごおり	6名	社会福祉協議会実 習生 3名	
	地域交流活動 (就労セミナー)	2/13	あすてらす 視聴覚室 会議室3	1名	障害(児)者・家 族・ボランティ ア・関係者 92名	
	地域交流活動 (ふくしらん 作成・配布)	随時	小郡市及び周 辺地域	1名	障害(児)者・家 族・ボランティ ア・関係者	

障害者団体が 行う上記の (1)(2)の活動 の支援事業	地域支援事業 (イルカの会 例会)	11回	あすてらす 和室・各種教 室等	2名	ボランティア (延べ)15名	0
	地域支援事業 (身障協ふれ あいオリンピ ック)	10/18	小郡市市民体 育館	2名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)22名	
	地域支援事業 (身障協日帰 り旅行サポー ト)	11/3	グリーンピア 八女	1名	身障協会員・家 族・関係者 31名	
	地域支援事業 (ワークショ ップ虹会議)	10回	ワークショッ プ虹	2名	虹職員・精神障害 者関係職員 (延べ)37名	
	地域支援事業 (精神障害者 ケア会議)	4回	あすてらす 会議室2	2名	ヘルパー・精神障 害者関係職員 (延べ)80名	
	地域支援事業 (精神障害者 地域支援会 議)	2回	北筑後保健福 祉環境事務所	1名	精神障害者関係職 員 (延べ)65名	

(2) その他の事業

定款の事業	事業の内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
	該当なし					